

NO.18 福祉系事務所

■ 屋上緑化面積：約 131 m ²	■ 竣工年：2009 年	■ 設置費：約 1,030 万円
■ 建物：事務所、RC+S 造、地上 3 階建	■ 住 所：（非公開）	



▲ 地被植栽ユニットとデッキユニットの組合せによる屋上緑化



▲ 屋上緑地・全景

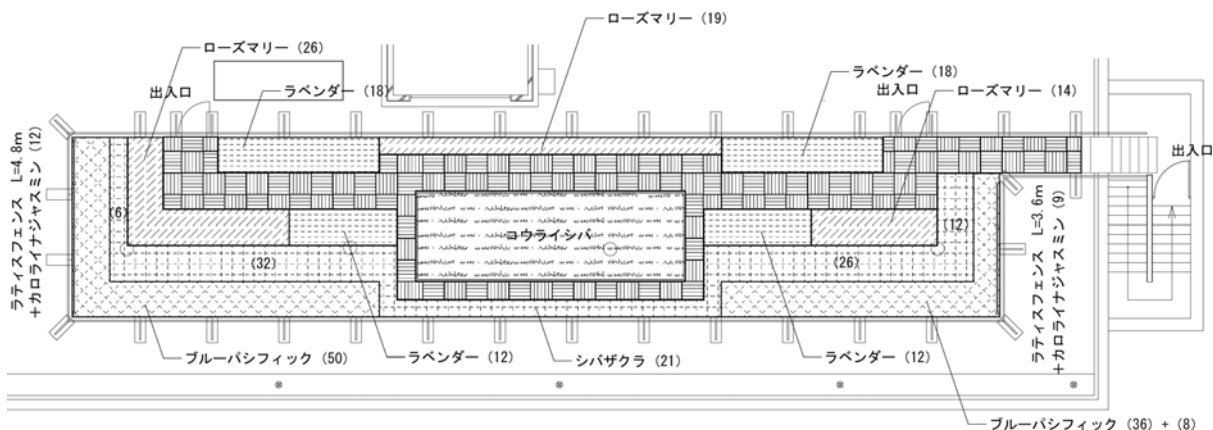


▲ 地被植物の植栽ユニット

- 緑化の目的・動機：近年、緑被率が減少傾向にあることから、緑被率の回復・増進を目的として、施設改修に合わせて屋上緑化工事を行った。
- 緑化による効果等：屋上緑化による緑被率増進への寄与。また、直下階における熱環境の改善効果なども期待されているが、竣工後間もないため、まだ効果の程は分からない。
- 工夫点・留意点等：既存フェンスの架台などがあり、予定していたとおりの形状の緑地を作ることが困難であった。また同じく架台の存在により、デッキの目地を通すのにも苦労があった。

- 建物竣工年：1978年
- 屋根：アスファルト防水+押えコンクリート
- 設計積載荷重：床荷重 110kg/m²
(耐震改修等評価書：補修防水 15kg/m²、屋上緑地は 95kg/m²内)

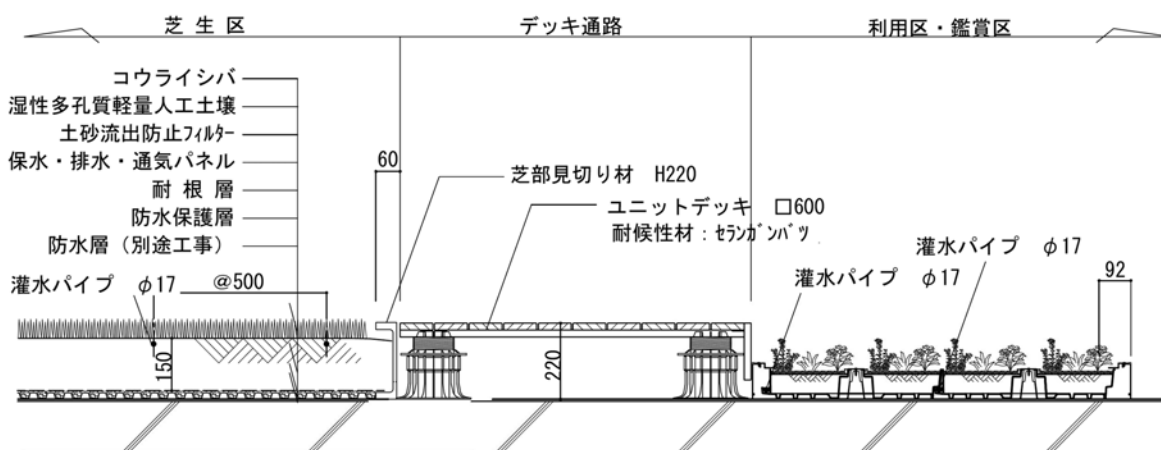
■緑地平面図



■植栽樹種

地被 ラベンダー、ローズマリー、シバザクラ、ブルーパシフィック、カロライナジャスミン
芝生 18.7 m²

- 設備機器 自動灌水設備・2系統用 雨センサー対応型
- 設置重量 単位面積当たり 約 53kg/m² (全体約 7,000kg)
- 構造詳細 芝生部・デッキ部・地被植栽 (Gウェイブシステム) 部・詳細図



防水シート：アスファルト防水冷工法 (ガムクールF X)

防根シート：ルートガードD、排水層：FDドレイン、土壌：FDソイル

■緑地の維持管理

管理会社に委託：竣工後間もないため、通年の委託管理はまだ行われていない。ただし、施工者のアフターサービスとして、芝や地被類の手入れ、灌水装置の点検等が行われた。

維持管理費：水道光熱費等が発生しているが、現時点で、内訳等は不明。

■緑地設計者：(非公開)

■緑地施工者：(非公開)

NO.19 特別養護老人ホーム暖心苑

■ 屋上緑化面積：約 147 m ²	■ 竣工年：2009 年	■ 設置費：約 930 万円
■ 建物：老人ホーム、RC 造、地上 4 階建	■ 住 所：江戸川区北葛西 4-3-16	



▲屋上庭園全景：手前チューリップの植栽とウッドデッキ



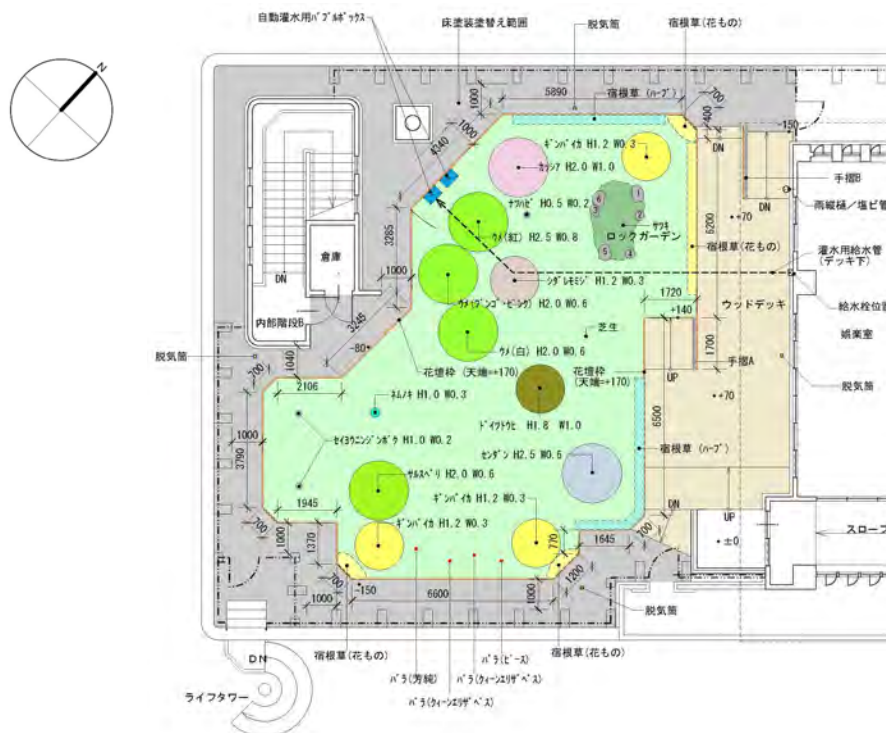
▲南側の高木植栽



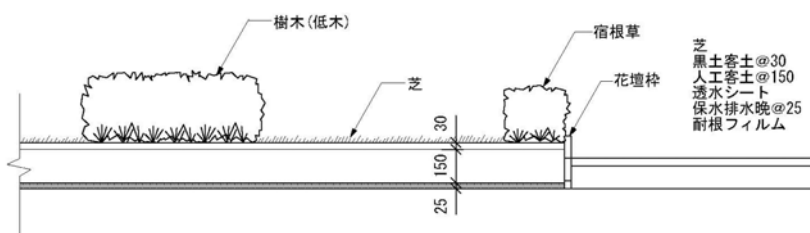
▲東側ウッドデッキ前のハーブ植栽

■ 緑化の目的・動機：夏の暑さ低減。老人ホーム利用者の方へ「憩い」の場を提供。
■ 緑化による効果等：夏でも屋上へ出られるようになった。花を見るために入居者が活動的になった。鳥や昆虫が来るようになった。
■ 工夫点・留意点等：風が強いので支柱に根杭をし、補強した。

- 建物竣工年：1988年 ■屋根：アスファルト防水+押えコンクリート
 ■設計積載荷重：床荷重 180 kg/m²、柱梁荷重 130 kg/m²、地震荷重 60 kg/m²
 ■緑地平面図



- 植栽樹種
 高木 ウメ（紅・ピンク・白）、センダン、サルスベリ、カシア
 中木 ドイツトウヒ、ギンバイカ、シダレモミジ
 低木 ネムノキ、セイヨウニンジンボク、ナツハゼ、サツキ
 地被 ローズマリー、タイム、セイヨウイワナンテン 芝等：109.5 m²
 その他 バラ（ピース）など
- 設備機器 自動灌水装置
 ■設置重量 単位面積当たり 約 123kg/m²（全体 18,265kg）
 ■構造詳細 地被・低木植栽部詳細図



防根シート：フリーガーデンシートE同等品、排水層：プライムボード同等品
 土壌：フリーガーデンソイルN、黒土、その他：グリーンハート材

- 緑地の維持管理
 自主管理：管理頻度 22 回/年、ボランティアさんによる草取りもあり。
 低木刈込（6 回/年）、高木手入（4 回/年）、芝生手入（8 回/年）
 排水口点検（2 回/年）、灌水装置点検（2 回/年）
 管理のポイント：雑草取り、施肥、消毒
 維持管理費：（約 3 万円/年・光熱水費等）
- 緑地設計者：（株）新環境設計
 ■緑地施工者：（株）富沢造園

NO.20 ジョイステージ八王子

■ 屋上緑化面積：約 200 m ²	■ 竣工年：2009 年	■ 設置費：約 2,500 万円 (防水改修含む)
■ 建物：老人ホーム、RC 造、地上 4 階建	■ 住 所：八王子市横川町 924 番地 2	



▲上空写真：緑地全景（手前は、菜園・ハーブ園）



▲屋上緑地：芝と花壇の全景

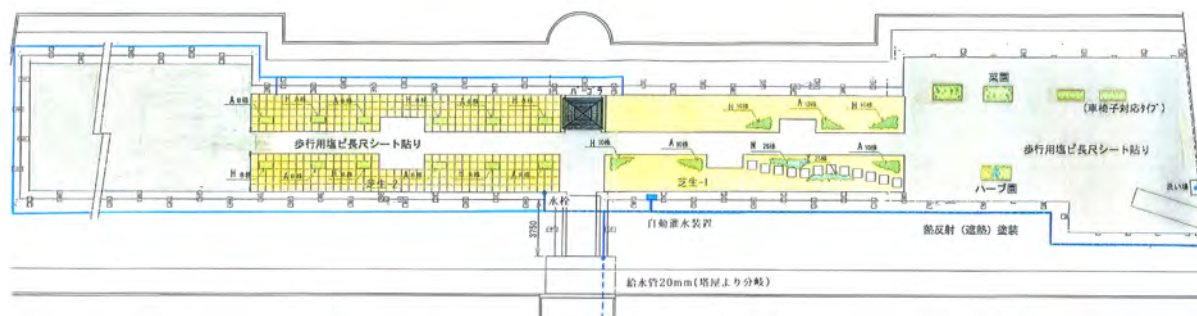


▲パーゴラ部

- 緑化の目的・動機：施設を建設して 15 年が経過し、大規模修繕工事の一環として、屋上の歩行音対策、夏季における最上階の室温上昇対策、フラットで使い勝手のよい屋上の活用、園芸療法の積極的導入などを目的として、屋上の防水工事と併せて、屋上緑化を実施した。
- 緑化による効果等：室温を下げる効果を、今後、期待。アクティビティの拡がりでご入居者間の会話が活発化。気分転換ができたり、楽しみながら歩ける環境ができた喜んで頂いた。スタッフとご入居者が交流する機会や場が増えた。屋上の歩行音が気にならなくなった。
- 工夫点・留意点等：荷重制限（地震荷重 30kg/m²）内での緑化工法の検討。強風に備え、システムやパーゴラ等の固定方法を工夫。ご入居者立会いのもと現場実験により音対策方法を検討。

- 建物竣工年：1995年
- 屋根：ゴムシート防水
- 設計積載荷重：床荷重 90 kg/m²、柱梁荷重 90 kg/m²、地震荷重 30 kg/m²
- 改修等：防音シート+塩ビシート（耐根性）の上部に、歩行部は歩行用塩ビシートを全面貼り、非歩行部は高反射塗料仕上げ

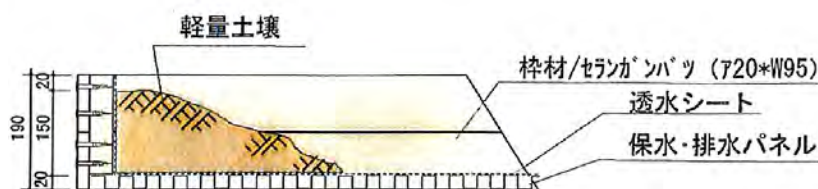
■緑地平面図



〈パース図〉

- 植栽樹種
地被 アベリア・エドワードゴーチャー、フィリヤプラン、ヒペリカム・カリシナム、耐寒マツバギク
- 芝生 200 m²

- 設備機器 自動灌水器（点滴式 50cm 間隔）
- 設置重量 単位面積当たり 約 86kg/m²（全体 17,240kg）
- 構造詳細 菜園・ハーブ園の花壇部詳細図



防水シート：防音マット+塩ビシート（耐根タイプ）、防根シート：耐根シート（ルートガードD）
排水層：板状保水排水層（FDドレインLN）、土壌：不織布マット+FDソイル2号

■緑地の維持管理

- 自主管理：管理頻度 9 回/年、芝刈り（7 回/年）、施肥（3 回/年）、目土入（1 回/年）
草花手入（11 回/年）、草花植替（2 回/年）、病虫害の防除（3 回/年）
排水口点検（12 回/年）、周辺清掃（12 回/年）
- 管理のポイント：芝生、草花への水やり回数を月毎に設定。草取りは月 1 回以上実施。

- 緑地設計者：NPO屋上開発研究会
- 緑地施工者：田島緑化工事（株）

NO.21 グレースメイト鷺ノ宮

■ 屋上緑化面積：約 310 m ²	■ 竣工年：2007 年	■ 設置費：約 870 万円
■ 建物：老人ホーム、RC 造、地上 3 階建	■ 住 所：練馬区中村 3-33-15	



▲ 屋上緑地の全景



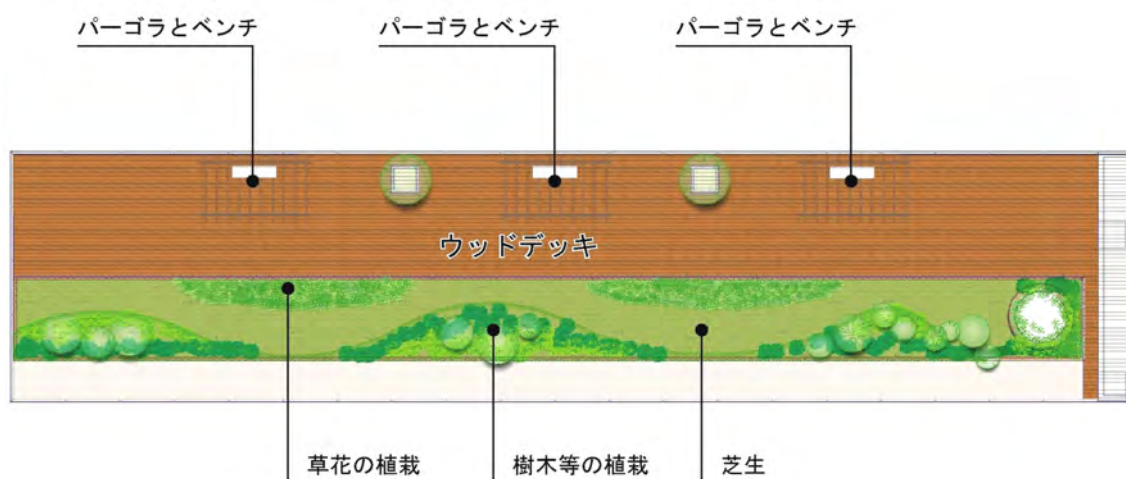
▲ 園路のウッドデッキ



▲ 樹木・草花による植栽

- 緑化の目的・動機：「お客様の側に立った質の高いサービスの提供」を基本方針とし、その一環として、芝生が植えられていただけの屋上を、人が集い、イベントが実施できる賑わいの場とするため、屋上緑化のリニューアル工事を実施した。
- 緑化による効果等：屋上庭園の完成によって入居者が施設内で気軽に自然に触れられるようになった。また、入居者参加型の菜園プログラムも実現している。スタッフからも「休憩時間にリフレッシュできる。」と福利厚生面での効果も出ている。
- 工夫点・留意点等：樹木や草花の植栽により、華やかで、季節感があり、利用者が気軽に安全に過ごせる空間を計画した。ウッドデッキの設置や、テーブルセット、レイズドベッドやターフなどの設置により、イベントの開催が可能になった。

- 建物竣工年：2005 年 ■屋根：アスファルト防水+押えコンクリート
- 設計積載荷重：床荷重 180kg/m²、地震荷重 60kg/m²
- 緑地平面図



■植栽樹種

- 高木 サクラ、ゲッケイジュ、シダレウメ
- 中木 ビバーナム、マンサク、キンモクセイ、ブッドレア
- 低木 ラベンダー、ローズマリー、ブルーベリーなど
- 地被 カレックス、セダムなど

- 設備機器 自動灌水装置
- 設置重量 単位面積当たり 約 130kg/m²
- 構造詳細 ———
- 排水層：発泡系貯排水、土壌：ピバソイル

■緑地の維持管理

- 管理会社に委託：管理頻度 12 回／年、別途千葉大によるサポートあり。
- 管理のポイント：千葉大学園芸学部と共同で、花の植え替えやプランターに植えられた野菜の手入れなどを入居者と一緒にやっている。
- 維持管理費：約 90 万円／年

- 緑地設計者：東邦レオ（株）
- 緑地施工者：東邦レオ（株）

NO.22 青梅市立総合病院

■ 屋上緑化面積：約 704 ㎡（庭園全体）	■ 竣工年：2004 年	■ 設置費：約 3,800 万円
■ 建物：病院、SRC 造、地上 6 階建	■ 住 所：青梅市東青梅 4-16-5	



▲屋上緑地内の散策路



▲上空写真：緑地全景



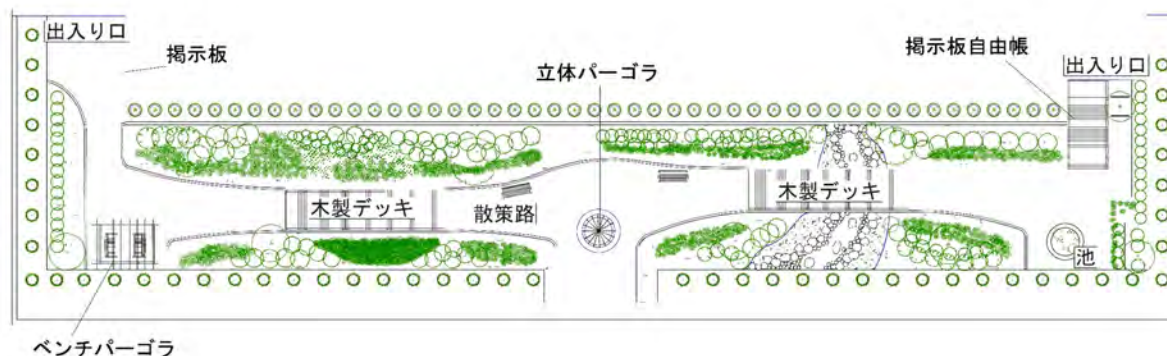
▲花壇・芝生・高木プランターなどの多彩な植栽

- 緑化の目的・動機：患者の方に、きれいで静かな療養環境を提供したいという思いから、リハビリへの活用と、患者のリラクゼーション、家族との団らんの場となるような屋上緑地を計画。
- 緑化による効果等：ヒーリングエンバイロメント（治癒的環境）としての役割に、患者の方から「安心する」、「励みになる」等の声が寄せられている。
- 工夫点・留意点等：120kg/㎡という荷重制限の中で、癒しの環境を実現するために、花壇・芝生・高木プランター・ウッドチップ舗装・パーゴラなど、空間を演出する様々な設備を設置する必要があり、計画に当たっては「システムの軽量化」が最も重要なポイントであった。

■建物竣工年：1979年 ■屋根：アスファルト防水+押えコンクリート

■設計積載荷重：地震荷重 60 kg/m²

■緑地平面図



■植栽樹種

高木 ビバーナムティヌス、ミモザ、ジュンベリー、エゴノキ、サルスベリ
西洋ニンジンボク、ヤマボウシ

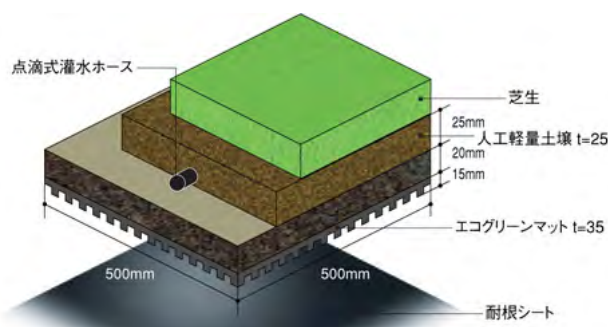
低木 タイム、ビバーナムエスキモー、コデマリ、西洋シャクナゲ、ブルーベリー、アジサイ
アセビ、クランベリー、ユキヤナギ、ラベンダー、イヌツゲ、ヤマブキ

芝生 82.8 m²

■設備機器 自動灌水装置

■設置重量 単位面積当たり 約 60 kg/m²

■構造詳細 芝生部（エコグリーンマットシステム）詳細図



防根シート：ルートガード、排水層：αウェーブシステム

土壌：（花壇）ピバソイル、（芝生）エコグリーンマットシステム

■緑地の維持管理

管理会社に委託：管理頻度：夏期間（週3回）、冬期間（週1回）、春・秋期間（週2回）

管理のポイント：屋上庭園を訪れる方とのコミュニケーションを業務の一環とするスタッフが、季節に応じて定期的に訪問。

維持管理費：約 300 万円／年

■緑地設計者：（株）伊藤喜三郎建築研究所

■緑地設計者：（株）松本造園土木